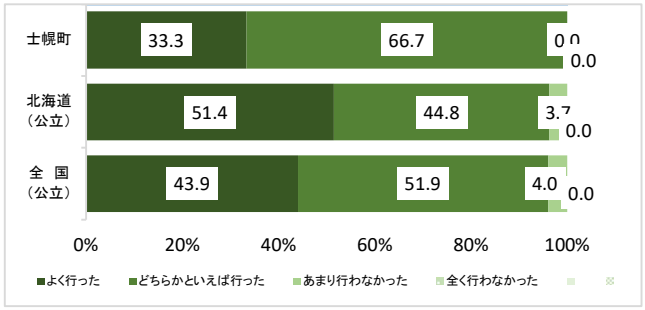
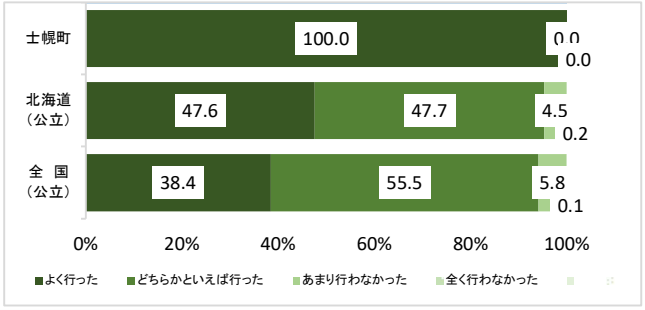
○ 質問調査の状況

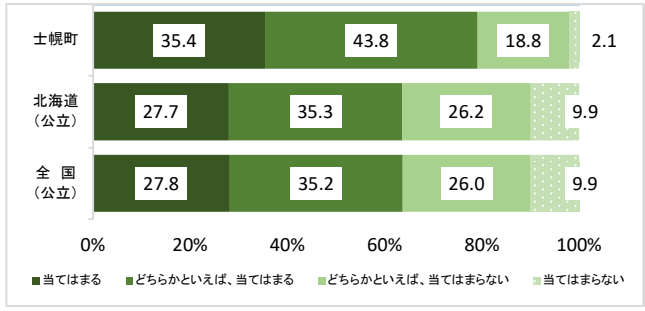
小学校
＜学校質問＞
算数の授業で、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、根拠を明確にして児童に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか。



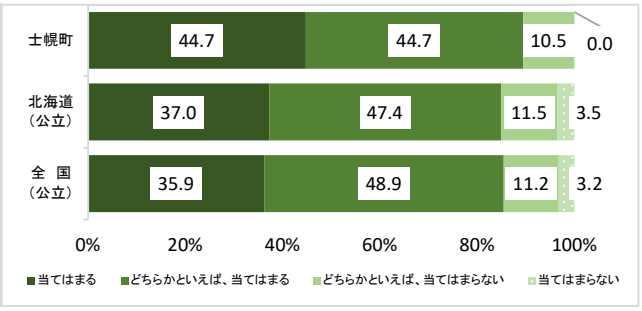
中学校
＜学校質問＞
国語の授業で、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるような指導を行いましたか。



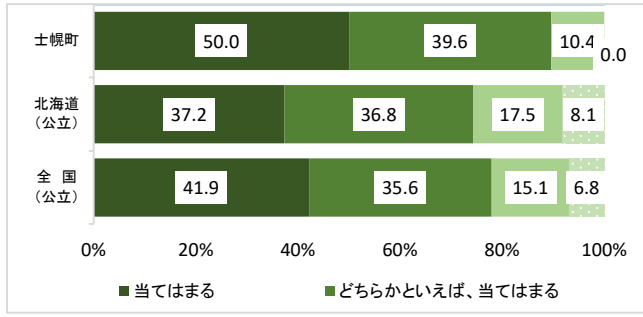
小学校
＜児童質問＞
算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか。



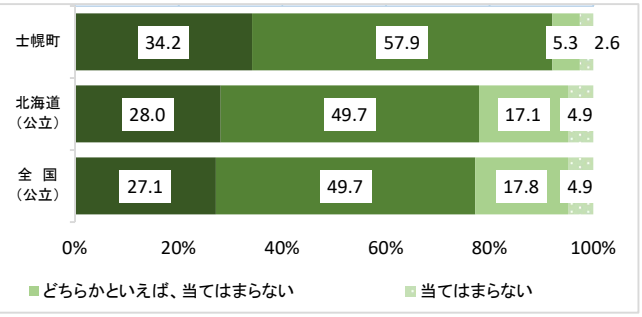
中学校
＜生徒質問＞
国語の授業で、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめていましたか。



小学校
＜児童質問＞
算数の授業の内容はよく分かりますか



中学校
＜生徒質問＞
国語の授業の内容はよく分かりますか



○ 調査結果の分析

＜小学校＞
- 算数で、問題の答えを求めるために、根拠を明確にして児童に筋道を立てて説明をさせる授業を行ったことにより、学習内容の理解が深まり、算数の授業の内容はよく分かると答えた児童の割合が全国よりも高く、平均正答率が全国平均を若干上回ったと考えられる。

＜中学校＞
- 国語の授業で、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるような指導を行ったことにより、生徒自身の考えが深まり、学習理解が促進され、国語の授業内容はよく分かると答えた生徒の割合が全国及び全道よりも高く、平均正答率も令和5年度の調査結果より全国平均との差を縮め、全国と同等になったと考えられる。

＜課題＞
- 国語、算数・数学の平均正答率が全国及び全道と同等もしくは下回っている状況は、平日の授業以外の学習の時間が全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

- 全国学調及び各種検査等の検証改善サイクルの確立による授業改善、各校の取組の情報共有による町全体の学力向上に向けた取組の推進
- 小学校及び中学校における町臨時教諭や学習支援員の配置による個に応じた指導の充実、小学校での専科教諭の配置継続による確かな学力の向上
- 学校と家庭との連携による家庭学習と読書の習慣化の推進